

令和元年度から令和3年度までの公民館講座で次の題材を取り扱ったものについて、公民館ごとの開催数及び講座名

令和元年度	有帆	高千帆	高泊	小野田	須恵	赤崎	本山	厚狭	出合	厚陽	埴生	津布田	合計
高齢者の社会参加について	15	29	14	1	8	18	18	20	23	35	45	42	268
空き家の利活用について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活交通の充実について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
過疎化・過疎地域について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山陽小野田市の財政運営について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	15	29	14	1	8	18	18	20	23	35	45	42	268

令和2年度	有帆	高千帆	高泊	小野田	須恵	赤崎	本山	厚狭	出合	厚陽	埴生	津布田	合計
高齢者の社会参加について	14	19	10	7	13	13	14	10	12	16	30	31	189
空き家の利活用について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活交通の充実について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
過疎化・過疎地域について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山陽小野田市の財政運営について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	14	19	10	7	13	13	14	10	12	16	30	31	189

令和3年度	有帆	高千帆	高泊	小野田	須恵	赤崎	本山	厚狭	出合	厚陽	埴生	津布田	合計
高齢者の社会参加について	5	14	6	7	4	4	5	6	6	12	3	10	82
空き家の利活用について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活交通の充実について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
過疎化・過疎地域について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山陽小野田市の財政運営について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	14	6	7	4	4	5	6	6	12	3	10	82

山頂付近と想定される箇所を指さす河崎さん（糸根公園で）



日本で2番目に低い山!?

標高約3.3mの赤兼山

山陽小野田市内に日本で2番目に低い山があるという。郷土史研究家の河崎平男さん（72）「埴生正寺」によると、糸根公園周辺に広がっていた赤兼山（あかかねやま）がそれで、標高は約3・3メートル。波や海風による浸食、造成などで山容はないが、同公園内の天文館入り口近くに山頂付近と思われる面影を残している。

糸根公園に山頂の面影

萩藩の絵図などに記録

赤兼山は、萩藩が1727年から26年間をかけて作成したとされる「地下上申（じげじょうしん）絵図」（県文書館所蔵）に記されている。藩内550余りの村ごとの絵図で、各村の庄屋が境界や家、街道、河川などを描いて藩に提出した。

河崎さんは、当時の海

岸線に沿うように山陽消防署埴生出張所から埴生交番辺りにかけて広がっていたと推測。「古い文献には、山頂では漁師が網を干したり、山陽道を行き交う人が休憩したりという記述が残っている」という。

標高は、山頂と思われる場所の現在の海拔。日

本で最も低い山は宮城県仙台市の日和山（ひよりやま、標高3.4メートル）とされている。「最低」を争ってきた大阪市の天保山（てんぽうさん）は標高

4・53メートルのため、その間に食い込むことになる。周辺の「糸根の松原」は市指定文化財の市指定史跡名勝天然記念物。河崎さんは「2番目に低い

山があるということも興味深い。古里の歴史や貴重な文化財に目を向けるきっかけ、また家庭で話題の一つになれば」と話している。（倉重）